

- 1 日時 令和8年10月18日(日) 8時30分開場  
9時30分開始式  
9時50分競技開始
- 2 会場 唐津市東部少年武道館 柔道場
- 3 種別・種目 一般男子
- 4 競技方法 トーナメント方式で行い、3位決定戦は実施しない。
- 5 参加資格 県民スポーツ大会総則11及び県民スポーツ大会開催要項7に定めるところによる。
- 6 出場制限
- (1) 市町単位でチームを編成し、各市町からの出場数は開催要項に定める。
  - (2) チームの編成は監督1名、選手5名、補欠2名とし、選手5名の合計段位は12段以内とする。
  - (3) オーダーは、大将から高段位順に配列する。但し、補欠はその段位の最下位に出す。
  - (4) 監督は、選手を兼ねることはできない。
  - (5) 前年度及び本年度の国スポ選手は出場できない。
  - (6) 警察官、刑務官合わせて1チーム2名以内とする。大学生は、1チーム2名以内とする。
  - (7) 市町単位で、A、B2チーム出場する場合は、AB間での選手の交代はできない。
- 7 競技規則
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
  - (2) 試合時間は4分とする。
  - (3) 優勢勝ちの判定基準を「有効」以上とする。但し、技による評価が同等の場合は「指導」差が2以上出た場合を「僅差」の優勢勝ちとし、「指導」の差が1までの場合は「引き分け」とする。(「僅差」の優勢勝ちの得点は1点とする。)
  - (4) 内容が同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。代表戦は、「引き分け」であった対戦の中から抽選で1試合を選び、3分間のゴールデンスコア方式による延長戦でにより勝敗を決する。